

[マツダ]MRCC 初期設定 (例：アテンザ GJEFW)

- ・ MRCC 初期設定が完了していない場合、MRCC (マツダ・レーダ・クルーズコントロール) システム、SBS (スマート・ブレーキ・サポート) システム、車間認知支援システムが正常に作動しない為、予期せぬ事故が起こりうる可能性があります。

注意： DSC HU/CM 取付け取り外し
SAS コントロールモジュール取付け取り外し

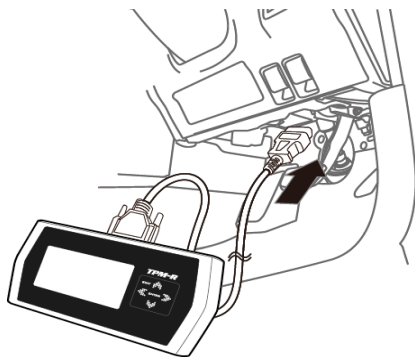
したがって上記 2 箇所の作業を行った場合は必ず MRCC 初期化を行い、MRCC システム、SBS システム、車間認知支援システムが正常に作動する状態にして下さい。

DSC HU/CM の不良
SAS コントロールモジュールの不良
バッテリー電圧異常



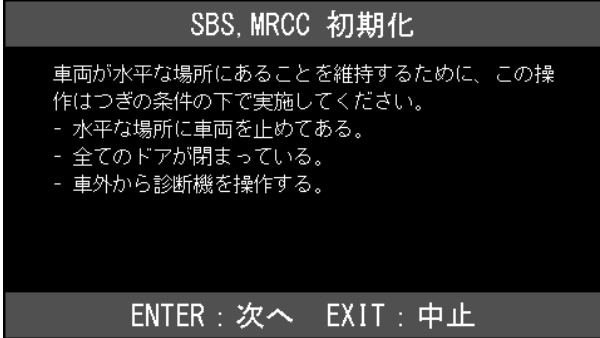
- 参考：**
- ・ 上記 3 箇所の要因によって初期化が正常に完了しない場合があります。その場合は異常個所を点検及び整備後、再度 MRCC 初期設定を行って下さい。
 - ・ 初期設定中は車両に振動を与えないで下さい。

手順/操作

● MRCC 初期設定 ※一部イラストは整備書より引用しております

1.	イグニッションスイッチが OFF である事を確認し、TPM-R を車両に接続して下さい。	
----	--	--

<p>2.</p>	<p>イグニッションスイッチを ON にして 下さい。 (ブレーキペダルを踏まずにプッシュスタート スイッチを 2 回押します)</p>	 <p>ブレーキを踏まずに、 2 回プッシュします。</p>																
<p>3.</p>	<p>『メーカー選択』から[国産乗用車]、[マツダ] を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	 <table border="1"> <caption>メーカー選択</caption> <tr> <td>国産乗用車</td> <td>トヨタ/レクサス</td> </tr> <tr> <td>輸入車</td> <td>日産/インフィニティ</td> </tr> <tr> <td>国産トラック</td> <td>ホンダ/アキュラ</td> </tr> <tr> <td>OBDII</td> <td>三菱</td> </tr> <tr> <td>HV整備モード</td> <td>スズキ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ダイハツ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>マツダ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スバル</td> </tr> </table> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>	国産乗用車	トヨタ/レクサス	輸入車	日産/インフィニティ	国産トラック	ホンダ/アキュラ	OBDII	三菱	HV整備モード	スズキ		ダイハツ		マツダ		スバル
国産乗用車	トヨタ/レクサス																	
輸入車	日産/インフィニティ																	
国産トラック	ホンダ/アキュラ																	
OBDII	三菱																	
HV整備モード	スズキ																	
	ダイハツ																	
	マツダ																	
	スバル																	
<p>4.</p>	<p>『車両確認』で車両を自動で検出します。 検出された情報に間違いが無い事を確認して [ENTER]を押して下さい。</p>	 <p>車両確認</p> <p>以下の通りでいいですか 車名: アテンザ VIN: GJEFW300071 Eng.Type: SKYACTIV-G 2.0 PCM: PE7T-188K2-A</p> <p>ENTER : はい EXIT : いいえ</p>																
<p>5.</p>	<p>『マツダメインメニュー』から [作業サポート]を選択し[ENTER]を押して 下さい。</p>	 <p>マツダ メインメニュー</p> <p>診断 作業サポート アクティブテスト</p> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>																

<p>6.</p>	<p>『作業サポート』から[SBS、MRCC 初期化]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>7.</p>	<p>『SBS 作業サポート』から[SBS、MRCC 初期化]を選択して[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>8.</p>	<p>車両が水平な場所にあることを維持するためにこの操作は次の条件の下で実施して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水平な場所に車両を止めてある。 ・ 全てのドアが閉まっている。 ・ 車外から診断機を操作する。 <p>条件が全て整っている事を確認し[ENTER]を押して下さい。</p>	

9.

作業が成功しました

イグニッションスイッチを OFF にしてください

以上で作業完了となります。

[EXIT]ボタンを数回押して『マツダメインメニュー』まで画面を戻し、イグニッションが OFF になっている事を確認し安全に TPM-R を取り外して下さい。

